

第3次食育推進基本計画における数値目標の達成状況

- 目標値と現状値を比較すると、目標を達成したものは3項目(◎で示す。)
- 第3次基本計画作成時の値と現状値を比較すると、改善したものは12項目(△で示す。)、悪化したものは6項目(▼で示す。)
- 下記の12項目について、分析・評価等を行った。
 - ①達成状況について悪化した6項目及びそれに関連した3項目
 - ②第6期食育推進評価専門委員会において、委員からの御意見が多く挙がった3項目
「農林漁業体験を経験した国民(世帯)の割合」、「食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合」、「推進計画を作成・実施している市町村の割合」

重点課題 との対応	具体的な目標値	第3次基本計 画作成時の				現状値	目標値	達成状況	分析・評価対象 (資料3-2参照)
		(H27(2015)年度)	(H28(2016)年度)	(H29(2017)年度)	(H30(2018)年度)				
総合的な 目標	① 食育に関心を持っている国民の割合	75.0%	79.6%	78.4%	—	90%以上	△		
	⑭ 食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している国民の数	34.4万人 (H26年度)	35.0万人 (H27年度)	36.0万人 (H28年度)	—	37万人以上	△		
	⑰ 推進計画を作成・実施している市町村の割合	76.7%	78.1%	79.3%	—	100%	△		(1)
重点課題1 若い世代を中心とした 食育の推進	④ 朝食を欠食する子供の割合	4.4%	4.5%	4.6%	5.5%	0%	▼		(2)
	⑤ 朝食を欠食する若い世代の割合	24.7%	22.6%	23.5%	—	15%以下	△		(2)
	⑩ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合	43.2%	39.4%	39.1%	—	55%以上	▼		(3)
	⑱ 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承している若い世代の割合	49.3%	54.6%	50.4%	—	60%以上	△		(8)
	⑳ 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する若い世代の割合	56.8%	56.9%	62.6%	—	65%以上	△		
重点課題2 多様な暮らしに対応した 食育の推進	② 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数	週9.7回	週10.1回	週10.5回	—	週11回以上	△		
	③ 地域等で共食したいと思う人が共食する割合	64.6%	71.4%	72.6%	—	70%以上	◎		
	⑥ 中学校における学校給食実施率	87.5% (H26年度)	88.8% (H27年度)	90.2% (H28年度)	—	90%以上	◎		
重点課題3 健康寿命の延伸につながる 食育の推進	⑨ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合	57.7%	59.7%	58.1%	—	70%以上	△		(3)
	⑩ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合(再掲)	43.2%	39.4%	39.1%	—	55%以上	▼		(3)
	⑪ 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を実践する国民の割合	69.4%	69.9%	68.2%	—	75%以上	▼		(4)
	⑫ 食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業の登録数	67社 (H26年度)	95社 (H27年度)	103社 (H28年度)	—	100社以上	◎		
	⑬ ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合	49.2%	51.0%	50.2%	—	55%以上	△		
	⑲ 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合	72.0%	71.8%	72.4%	—	80%以上	△		
	⑳ 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する若い世代の割合(再掲)	56.8%	56.9%	62.6%	—	65%以上	△		
重点課題4 食の循環や環境を意識した 食育の推進	⑦ 学校給食における地場産物を使用する割合	26.9% (H26年度)	26.9% (H27年度)	25.8% (H28年度)	26.4% (H29年度)	30%以上	▼		(5)
	⑧ 学校給食における国産食材を使用する割合	77.3% (H26年度)	77.7% (H27年度)	75.2% (H28年度)	76.7% (H29年度)	80%以上	▼		(5)
	⑮ 農林漁業体験を経験した国民(世帯)の割合	36.2%	30.6%	36.3%	—	40%以上	△		(6)
	⑯ 食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合	67.4% (H26年度)	62.4%	71.8%	—	80%以上	△		(7)
重点課題5 食文化の継承に向けた 食育の推進	⑰ 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合	41.6%	41.5%	37.8%	—	50%以上	▼		(8)
	⑱ 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承している若い世代の割合(再掲)	49.3%	54.6%	50.4%	—	60%以上	△		(8)

<達成状況> ◎: 目標達成、△: 第3次基本計画作成時と現状値を比較して改善、▼: 作成時と現状値を比較して悪化